

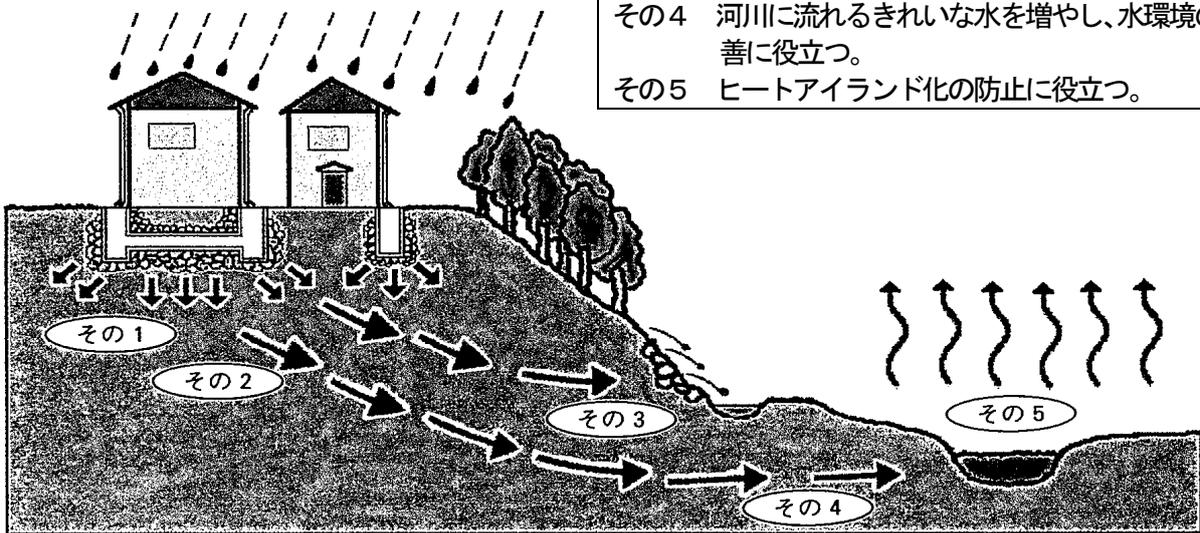
## □□□雨水浸透枿の設置を

お願いします。□□□

- 市街地で降った雨は地下に浸透せず、一気に川に流れ込みます。鎌ヶ谷市では、市街化が進み、年々一気に川に集まる水量は多くなっています。
- これによって、当然、川はあふれやすくなります。鎌ヶ谷市では、例年のように床上・床下浸水や道路冠水などの被害が発生しています。
- 逆に地下水や湧水量は減少します。川の水が汚くなってきているのは水源になる地下水や湧水が少なくなっていることも原因のひとつです。
- これは、都市部が高温になるヒートアイランド化にも影響していると考えられます。
- こうした現象を防ぐために、屋根の水を集める枿は浸透枿にしましょう。

### 雨水浸透枿の働き

- その1 雨水を地下に浸透させ水害を軽減する。
- その2 地下水を補給し、枯渇を防ぎ、地盤沈下を防止する。
- その3 湧水の水量を守る。
- その4 河川に流れるきれいな水を増やし、水環境の改善に役立つ。
- その5 ヒートアイランド化の防止に役立つ。



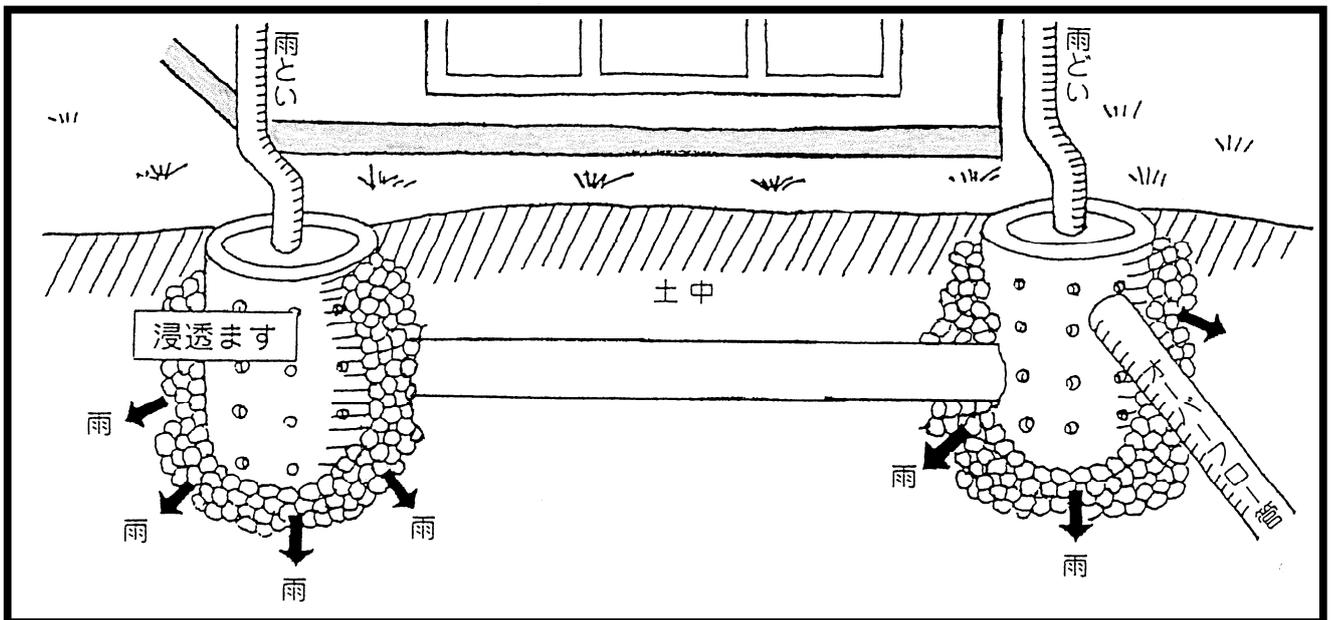
□敷地内に設置していただく「雨水浸透柵」の設置数量は、下表のとおりです。

敷地面積に応じて設置の数量が異なります。

敷地面積	設置していただく数量
200㎡未満	浸透柵 2個以上
200㎡以上 300㎡未満	浸透柵 3個以上
300㎡以上	浸透柵 4個以上

※上の表は、浸透柵が標準タイプの場合の数量のため、標準タイプ以外を設置する場合は、数量が異なります。

□建築確認申請の前に、道路河川整備課で説明を受けてください。

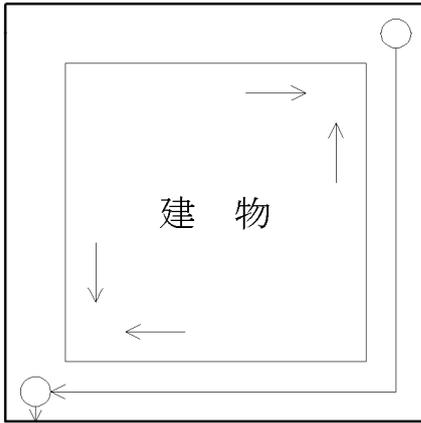


□皆様のご理解とご協力をお願いします。

(問合せ先) 都市建設部道路河川整備課治水係 TEL. 445-1141内線421・422

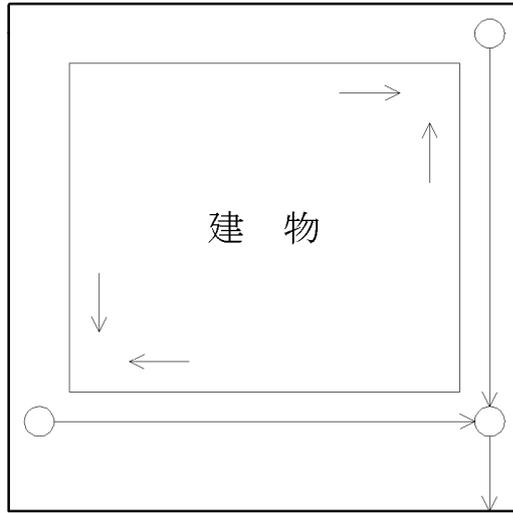
# 雨水浸透施設の標準的な位置

敷地面積 200 m<sup>2</sup>未満のモデル  
浸透枳 2個



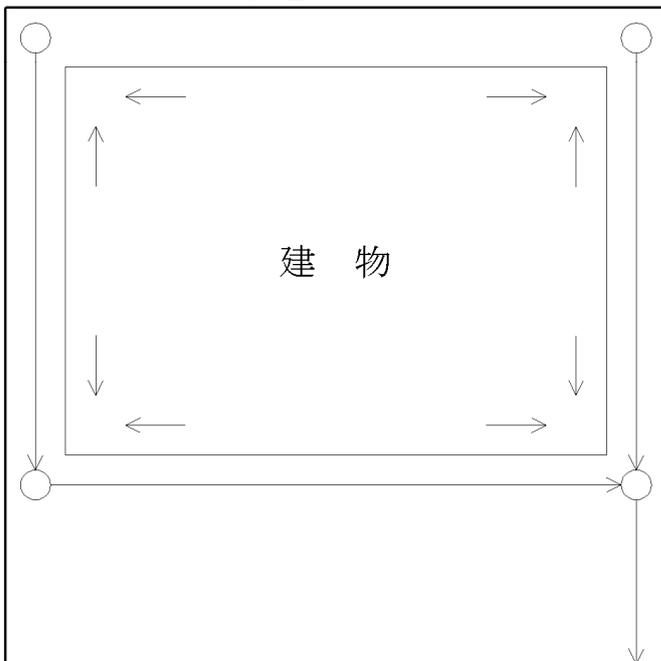
オーバーフロー管

敷地面積 200 m<sup>2</sup>以上 300 m<sup>2</sup>未満のモデル  
浸透枳 3個



オーバーフロー管

敷地面積 300 m<sup>2</sup>以上のモデル  
浸透枳 4個



オーバーフロー管

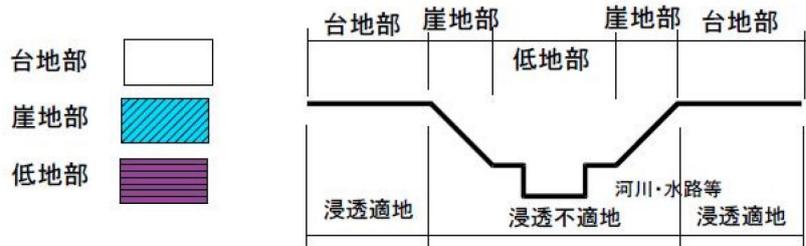
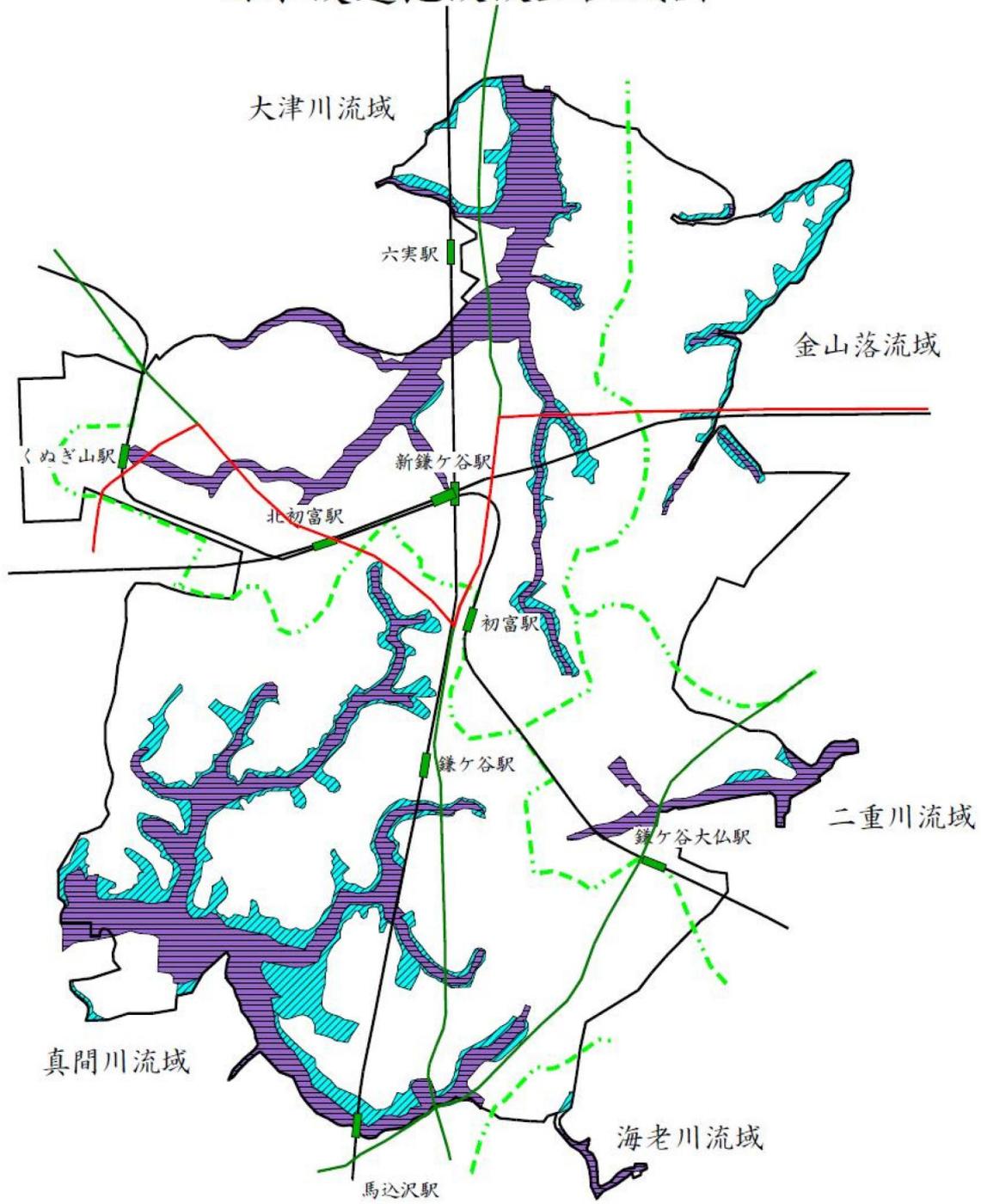
凡例

○ 浸透枳

→ 水の流れる方向



# 雨水浸透施設設置区域図



※区域分けは参考であるため、詳細については道路河川整備課治水係までお問い合わせ下さい。